

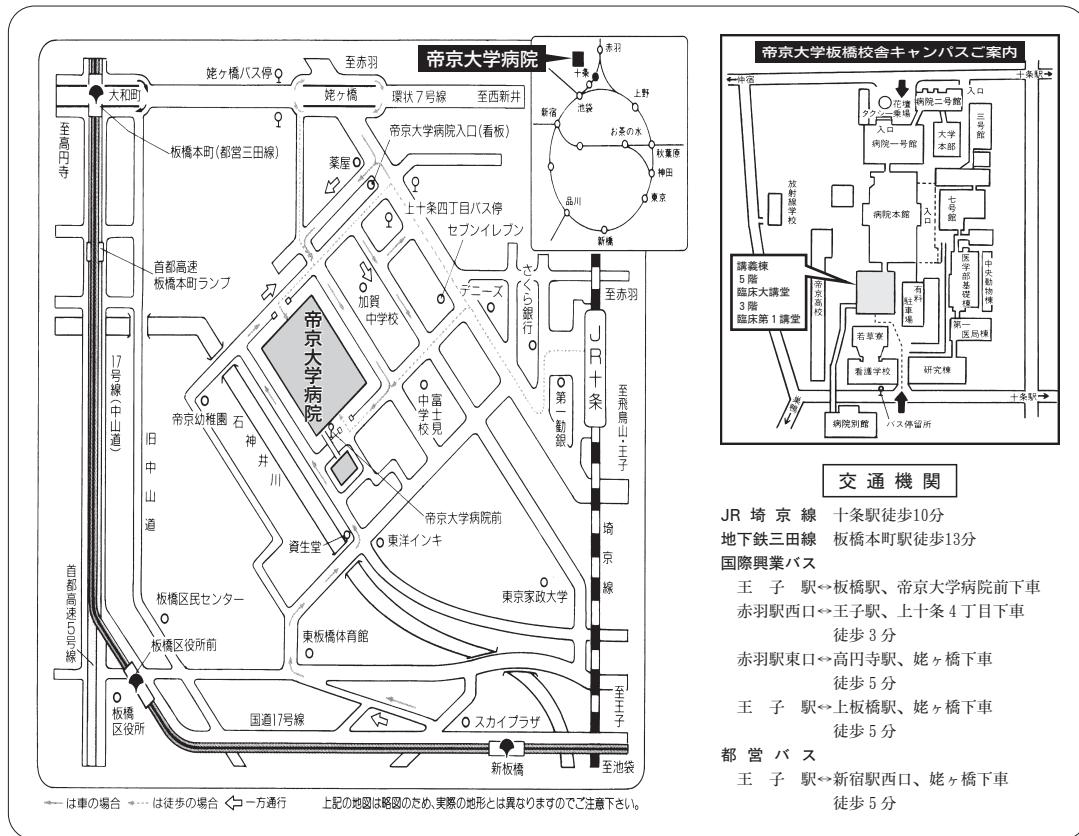
第543回

# 日本小児科学会東京都地方会講話会

# プログラム

日 時 平成18年12月 2 日(土)午後 2 時00分

場 所 帝京大学講義棟臨床大講堂(5階)



## 演題の申し込みについて

- 講話会の当日、文書で提出してください。
  - 抄録（200字内外）をおつけください。
  - 原則として指定発言者をご記入ください。
  - 演者、指定発言者は、当日抄録（200字以内）を提出してください。（日本小児科学会誌掲載の為）

世話人

プログラム係  
東京医科大学小児科

柏木 保代  
03(3342)6111

会場係  
帝京大学小眼科

中村 明夫

東京大学小児科 03(3504)1211 内線1481  
直通(FAX) 03(3579)8212

mail: pedi@med.teikyo-u.ac.jp

事務局 03(5388)7007

e-mail : jps-tokyo@umin.ac.jp

# 第 543 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1題6分、指定発言5分、追加討論2分以内、厳守のこと。○印演者)

第1グループ 14:00—14:30

座長 鶴田 敏久（東京女子医科大学東医療センター輸血部）

1) Aplastic crisis の経過中に総胆管結石嵌頓を合併した遺伝性球状赤血球症の1例

○田中 瑞恵、西野 恭平、山中 純子、早川絵里子、松下 竹次（国立国際医療センター小児科）

遺伝性球状赤血球症の7歳女児。発熱、顔面蒼白にて来院。汎血球減少を認め、パルボウイルスB19による aplastic crisis と診断。状態が改善し、外泊中腹痛出現し、総胆管結石嵌頓を認め、緊急転院となった。

指定発言 加藤 善史（順天堂大学小児外科）

2) 小児 Castleman 病の2例

○有馬慶太郎、稻井 郁子、真部 洋、平林 真介、高橋 宏佳、

田草川彩子、長谷川大輔、小川千登世、細谷 亮太（聖路加国際病院小児科）

荒木夕宇子、中村 晃子、松藤 凡（ 同 小児外科）

竹内 敏雄（たけうちこどもクリニック）

三輪 操子（三輪小児科医院）

上松 一永

（信州大学医学研究科移植免疫感染症学講座感染免疫）

Castleman 病はリンパ節腫脹を伴い、組織学的にはリンパ濾胞の過形成、ヒアリン化と血管内皮細胞の増殖を伴う著しい血管新生を認める良性のリンパ増殖性疾患で1956年に初めて報告された稀な疾患である。特に小児例の報告は少ない。今回、我々は腫大リンパ節摘出術が著効した小児2例を報告する。

3) 慢性肉芽腫症に対する同種骨髄移植5年後に骨肉腫を発症した1例

○下田木の実、康 勝好、内野 俊平、古屋 彩夏、

井田 孔明、高見沢 勝、五十嵐 隆（東京大学小児科）

滝田 順子（ 同 無菌治療部）

症例は13歳の男児。乳児期より易感染性があり1歳時に慢性肉芽腫症と診断された。8歳時にHLA1座不一致の同胞より同種骨髄移植を施行し、スーパーOKサイド産生が確認された。平成18年7月頃より左骨盤～大腿の痛みが出現した。左腸骨に造骨性腫瘍を認め骨肉腫と診断し化学療法を開始した。若干の文献的考察を加え報告する。

第2グループ 14:30—15:10

座長 中島やよひ（日赤医療センター新生児未熟児科）

4) 経腹的羊水穿刺にて子宮内リステリア感染症を早期に証明し得た極低出生体重児の1例

○小野 裕子、吉川 尚美、鈴木 光幸、李 翼、久田 研、

佐藤 弥生、東海林宏道、篠原 公一、清水 俊明、山城雄一郎（順天堂大学小児科・思春期科）

米本 寿志、伊藤 茂（ 同 産婦人科）

症例は30週1日、1448g、アプガースコア4/7点にて出生した女児。母体の感染徴候に対し出生前に経腹的羊水穿刺を施行し、出生数時間後には *Listeria monocytogenes* を検出した。その後、児の髄液および血液培養からも同菌が検出された。TAZ/PIPC および AMK にて治療を開始し、後遺症無く軽快した。*L.monocytogenes* は、周産期ないし新生児期感染症の原因菌としてしばしば予後不良な経過をたどる。今回、経腹的羊水穿刺により早期に診断したリステリア感染症の1症例を経験したので、文献的考察を加え報告する。

## 5) 修正 42 週 2 日に川崎病を発症した超低出生体重児の 1 例

○西村 力, 大森 意索, 清水 光政, 渡辺とよ子 (墨東病院周産期センター新生児科)  
三澤 正弘 ( 同 小児科)

在胎 28 週 6 日, 752 g, 双胎間輸血症候群の供血児として出生した男児。日齢 94 (2349 g) に発熱, 発疹, 結膜発赤, 口唇発赤が出現した。感染症を疑い抗生素を開始したが解熱せず, 全身状態も不良となった。γグロブリンを投与したところ, 翌日に解熱した。6 病日より指趾先端より膜様落屑を認め, 川崎病であったことが判明した。冠動脈病変の合併はなかった。修正週数的には若い発症例であり, 文献的考察を加えて報告する。

## 6) 新生児期肺化膿症の 1 例

○櫻井 謙, 高木 健, 西野 多聞, 湯坐 有希,  
小林 博司, 斎藤 義弘, 藤沢 康司, 衛藤 義勝 (東京慈恵会医科大学小児科)  
羽山 哲也 (東京慈恵会医科大学附属病院)

新生児期肺化膿症を経験した。日齢 13, 哺乳力低下・顔色不良を主訴に来院。CRP 18.5, 画像上, 左胸腔内に約 5.5 cm の腫瘍を認め手術。病理所見で左下葉壞疽性肺の診断。肺組織細菌培養陰性, 咳痰で *Ste. Malthophilia* を検出。解剖学的異常もなく, 免疫不全症も考え, 精査したが, 明らかな異常を認めなかった。

## 7) 新生児けいれんによると考えられる無呼吸発作を繰り返した 1 例

○松永 典子, 朝貝 省史, 岡田 隆文, 岡田 千晶, 斎藤 雄之, 三春 晶嗣,  
津村 由紀, 櫻井 倫子, 有馬ふじ代, 松原 啓太, 込山 修, 岩田 敏  
(独立行政法人国立病院機構東京医療センター小児科)

症例は在胎 40 週 2 日で仮死なく出生した男児。日齢 3 に無呼吸発作を頻回に認め入院した。他の疾患を鑑別後, 新生児けいれんと考えて, 日齢 9 から phenobarbital を開始した。日齢 15, 一時発作は消失したが, 日齢 21 から再発した。日齢 8 に行った発作間欠期脳波では中心部に局在性極徐波複合を認め, carbamazepine に変更して経過観察中である。

指定発言 山本 敬一 (済生会中央病院小児科)

休 憇 15:10—15:20

感染症だより 15:20—15:30

座長 山本 光興 (山本小児科)

谷口 清州 (国立感染症研究所感染症情報センター)

教育講演 15:30—16:00

座長 渡辺 博 (東京大学医学部小児科)

臨床法医からみた児童虐待－虐待防止・医療機関ができること－

佐藤 喜宣 (杏林大学医学部法医学教室教授)

近年, 児童虐待は, 大きな社会問題となっている。平成 16 年の全国児童相談所への虐待の相談・通告件数は, 約 3 万余件で現在も増え続けていて, 死亡事例も増加の傾向にある。平成 12 年 11 月に児童虐待の防止等に関する法律が施行され, 学校の教職員, 児童福祉施設の職員, 医師, 保健婦, 弁護士等の児童虐待を発見しやすい立場にある者について, 虐待の早期発見に向けた努力義務が課せられ, 同時に早期通告義務が課せられたが, 各々現場では, かなりの「混乱」と「温度差」が有ると考えられる。現在のところ, 医療機関については, 児童虐待の防止に関する対応はすべての点において遅れていると言わざるを得ない。そこで, 医療機関を中心とした児童虐待の現状を説明し, 医療機関における児童虐待防止委員会の役割と今後の課題について述べる。

### 第3グループ 16:00—16:30

座長 新庄 正宜（慶應義塾大学小児科）

#### 8) 室内犬からの感染が疑われたサルモネラ腸炎の1カ月男児例

○仁後 綾子, 小林さより, 安藤 亜希, 山之上 純, 絹巻 晓子,  
黒澤 照喜, 小高 学, 柳原 知子, 和気 彰子, 柳原 裕史,  
松岡 典子, 小鍛治雅之, 寺川 敏郎, 横路征太郎（都立府中病院小児科）

症例は1カ月男児。下痢、発熱を認め、便培養より *Salmonella Typhimurium* が分離され、サルモネラ腸炎と診断。児の発症前より下痢を認めていた室内犬より同血清型の菌が分離され感染源と推測された。サルモネラは種々のペット、家畜などが幅広く保菌しており、ペットを介する感染の可能性を念頭におき診療にあたるべきと思われる。

指定発言 高山 直秀（都立駒込病院小児科）

#### 9) 7カ月の男児に見られたクリプトスボリジウム感染症による難治性下痢の1例

○富川 真由, 松島 実穂, 佐藤 美香,  
滝 有希子, 井上 直之, 別所 文雄（杏林大学小児科）  
松井 利博（ 同 寄生虫学）

発熱、下痢、痙攣を主訴に入院した。大量の下痢が持続したが細菌学的検索では有意菌の検出が無かつたため、寄生虫検索したところ便中オースチストを検出し、クリプトスボリジウム感染症と診断した。脱水、電解質異常を呈し、蛋白漏出性腸症に伴う2次性免疫不全、低蛋白血症を併発した。γグロブリン補充療法など、支持療法により改善した。

#### 10) DPTワクチンアレルギーに対し、ステロイド予防投与後接種にて抗体価上昇を認めた1例

○神野 聰子, 青田 明子, 松浦 隆樹, 平野 大志,  
高木 健, 菊池健二郎, 赤司 賢一, 黒川 直清,  
瀬尾 雅美, 宮戸 淳, 津田 隆, 白井 信男（東京慈恵会医科大学附属青戸病院小児科）  
衛藤 義勝（東京慈恵会医科大学附属病院）  
松永 貞一（永寿堂医院）

生後9カ月時にDPTワクチンⅠ期1回目を接種した際、6時間後全身に腫瘍を認めた。DPTワクチンに対するDLSTを測定したところ、S.I値719%と高値を認め、DPTワクチンアレルギーと診断された。その後Ⅰ期2回目・3回目、Ⅰ期追加接種時は、あらかじめステロイド予防投与を行った上で行いアレルギー反応の出現なく終了した。Ⅰ期追加接種前、ジフテリア・破傷風菌・百日咳抗体価の上昇を確認することができた。

### 第4グループ 16:30—16:55

座長 河島 尚志（東京医科大学小児科）

#### 11) 自然腎孟外溢流の1例

○田中 竜馬, 粟津 緑, 石井 智弘, 前田 潤, 高橋 孝雄（慶應義塾大学小児科）  
金井 邦光, 大東 貴志, 村井 勝（ 同 泌尿器科）

8歳女児。腎疾患の既往なし。外傷などの誘因なく左側腹部痛出現、2日後に来院時体温38℃。腹部圧痛、筋性防御を認めた。造影CTで左腎の多房性囊胞、皮質菲薄化および後腹膜腔への液体貯留を認めた。CRP17.8、白血球17800。保存的療法により症状軽快。MRウログラフィーにより腎孟尿管移行部狭窄による巨大水腎症と診断された。

- 12) 大学病院救急室における開業医による小児一次救急診療：大田区内3医師会による運営実績  
○松裏 裕行, 佐藤 真理, 月本 一郎(東邦大学医療センター大森病院小児科)  
南雲 晃彦, 神川 晃(蒲田医師会)  
與儀 実之, 荒井 俊秀(大森医師会)  
岡 哲康, 内山 浩志(田園調布医師会)

病院勤務小児科医の疲弊が社会問題化し、小児医療の集約化が声高に提唱されている。大田区内3医師会所属小児科標榜医52名の協力と大田区の予算措置により、我々は開業医が当病院救急室で初期救急医療を行う体制を本年4月より開始した。平日夜間3時間に限っての運営であるが所期の効果をあげているので運営方法、実績、問題点を紹介する。

- 13) 高身長を主訴に来院した甲状腺機能亢進症の1例

- 長野 伸彦, 大山 恭平, 神津 悠, 福原 淳示, 船木 聰,  
浦上 達彦, 中林 啓記, 高橋 昌里, 原田 研介(駿河台日大病院小児科)

症例は3.6歳の女児。家族は患児の症状(発汗增多、食欲亢進)に関する認識に乏しく、近医で高身長を指摘され来院した。軽度の甲状腺腫を認め、入院時の甲状腺機能はTSH 0.01 μU/ml, FT 47.77 ng/dlであり、甲状腺機能亢進症と診断して治療を開始した。高身長の精査としてGH分泌試験を行ったが、GH分泌は抑制されており、LH-RH試験は前思春期反応であった。成長曲線にて2.5歳から身長増加を認め、この頃から甲状腺機能亢進症を発症していたことが推測された。

## 運営委員会だより

- 10月の講話会参加者137名、新入会7名(会員数1,800名)。
- 地方会主催の“子どもの健康週間”は10月9日(体育の日)に晴天のもと都内5公園で実施されました。健康相談会の参加者数は474名で、今回担当となりました各大学のご協力に感謝いたします。
- 来年度の教育講演は思春期医療をテーマに性行動と性感染症、心身症、喫煙や薬物乱用、思春期発症疾患等を取り上げる予定です。
- 地方会名誉会員推薦がありましたら事務局へお問合せください。期限は、平成18年11月30日です。
- 次回の地方会講話会(12月2日)終了後に幹事会を開催いたします。

## 【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅、勤務先の住所(プログラム送付先)等の変更または、改姓があった場合は、速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。登録事項変更届出用紙をご送付いたします。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

WAKODO

乳幼児用イオン飲料  
**アクアライト ORS**

**乳幼児の電解質・水分補給を新提案！**

水分・電解質の吸収率を高めるため、浸透圧を200mOsm/Lと低くしています。

酸味を抑え、乳幼児が飲みやすいりんご風味です。

人工甘味料・保存料等は一切使用しておりません。



125mL×3個パック



乳幼児にとって理想的なバランスで電解質を補うことができます。  
125mLの飲み切りサイズです。

和光堂株式会社 お客様相談室フリーダイヤル

●インターネットで和光堂情報を提供しています。http://www.wakodo.co.jp

06.10

Computer Presentationについて

Computer Projectionによる発表を受け付けます。ただしWindowsのみで下記要領でお願いいたします。Powerpoint 2000以上で作成、Font文字はPowerpoint備え付けのみ。CD-RもしくはUSBメモリーにて、第1、2グループ発表者は午後1時30分までに、第3グループ以降の発表者は午後3時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルスcheckをお願いいたします。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の1週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきすることをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

演者の先生方へのお願い

一次抄録は160字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

Computer Presentationをお願いします。